

リーダーを目指す女性のための実践講座【オンラインライブ】（4121080）

リーダーを目指す女性のための実践講座～支援型リーダーか、牽引型リーダーか、それ以外か？～人生のキャリアの自己実現のために出来ること～リーダーとして必要な知識・技術を学ぶとともに、体験談・討議・意見交換を通して皆様が抱える課題に対する克服策について気づきを得ていただくことを目的としています。

開催日時	2021年5月10日(月) 10:00-18:00ライブ配信
カテゴリ	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 業務遂行スキル ヒューマンスキル
講師	永谷裕子 氏 （株式会社アスカプランニング 代表取締役社長） PMP、MBA、工学博士 北海道大学大学院非常勤講師 グローバル・プロジェクトマネジメントのコンサルタント、研修講師に従事 浦田有佳里 氏 （TIS株式会社 テクノロジー&イノベーション本部Smart Society 推進室長 兼 戦略技術センター副センター長） PMI公認PMP、公認システム監査人
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,800円 一般 : 43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	IT関連業務でこれから部下を持つ女性管理者（リーダー）・候補者／チーム運営・部下指導等で悩みや課題をお持ちの女性管理者／キャリアアップを目指す女性管理者／女性管理者同士の情報・意見交換をされたい方 中級
開催形式	オンライン ライブ配信
定員	20名
特記	お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9102
ITCA認定時間	7

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【[セミナーのオンライン受講について](#)】

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

<受講者の声>

- ・ 共感型・支援型リーダーシップについて学べた。
- ・ 演習を通じて他の方の様々な意見が聞けたのはよかった。まだ6年目ということもあり、受講するには少し経験が足りなかったと思う反面、上司の気持ちも考えることができるようになった。
- ・ 初めて女性のためのセミナーに参加し、女性ならではの目線で1日話を聞いたことはとても勉強になった。
- ・ 同じ悩みを持つ女性同士で話し合うことで、共感し活力をもらえた。

現在、官民をあげて、女性の活躍を促進する様々な施策が展開されています。脳科学的にも、生物学的にも、男と女は違うそれぞれの特徴をもっており、その適性や能力を生かす事は、ビジネスの上では大変重要なことです。

女性と男性の本来持っている適性を活かし、理解したうえ、不足を補うスキルを身につけることが重要です。

チームマネジメントも同じく、A「チームの自立性を活かし、支援型でのリーダーシップ」が必要な時と、B「危機的状況などトップダウンでの牽引型リーダーシップ」が必要な時など、どのようなリーダーシップを発揮するかは状況に応じて違い、必要なコミュニケーションスキルも違います。また、女性は、出産・育児といった多重な役割を抱えており、男性よりタイムマネジメント、ストレスマネジメントと

いったスキルが必要となります。

本セミナーは、リーダーとして必要な知識・技術を学ぶとともに、体験談・討議・意見交換を通して皆様が抱える課題に対する克服策について気づきを得ていただくことを目的としております。

<内容>

第1部 基礎スキル チームビルディングとリーダーとして必要な5つのスキル

講師：永谷 裕子氏

- ・リーダーに求められる5つの役割

リーダー、マネージャー、ファシリテーター、メンター、交渉人の具体例から実践知を身につける

- ・今求められるリーダー像とその適性

父性型リーダーから母性型リーダーへ 新しい形のリーダーシップスタイル

第2部 女性の特性を活かしたリーダーシップ

講師：永谷 裕子氏

1 女性と男性の適性の違い

- ・脳科学的にみる男女の違い
- ・ジェンダーとは？

2 女性の就労への疎外要因

- ・個人的、社会的、組織的要因
- ・認知要因
- ・生物学要因
- ・仕事への動機付け

第3部 人生のプロジェクトマネジメント

1 ワークショップ 多様なメンバーでチーム成果を出すには？

2 働く女性の人生のプロジェクトマネジメント

ファシリテーター：浦田 有佳里氏

少子高齢化の時代、女性の労働力は必須であり、男女の差が無く仕事や役割、責任を持つことになっていきます。

家庭を持ち、子供を育て、趣味を楽しむ一方、仕事の幅や責任も重くなっていきます。

リーダーとしてのチームマネジメント、働く女性としてのセルフマネジメント、そして、自身の人生のマネジメントを行い、仕事もプライベートも充実するようにマネジメントする方法は無いのか。現在の状況を会社や誰かのせいせず、自分ごととして変えていくアクションは？

また、最近ではダイバーシティ&インクルージョンという言葉で多様なメンバーで成果を出すことが多くなってきています。

多様なメンバーをまとめるチームのリーダーとしてどのようなことに気を付ければ良いか、ワークショップを行い、実践していただきます。

第4部 ワークショップ～キャリアアップのハードルは、組織の壁か、自分の壁か

ファシリテーター：永谷裕子氏、浦田有佳里氏

女性のキャリアアップの障害は、まだまだ日本は男性社会だからでしょうか。それとも自分で壁を作っていませんか。ワークショップを行うことで新しい発見と気づきがあるかもしれません。

第5部 まとめ